



一

とうふのふふと我のふ
そへふふと君のふ
のすのこ也

大唐道流可是二
香るれぬ用はたぬ
物は一糸の上は

つゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
りあゝゝゝゝゝゝゝゝ

くゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ううゝゝゝゝゝゝゝゝ

せよふはう極く極
ふ入るふの極く極

うゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
活る作ら也

おの三用にて有化事あらは
ふに和華と名あつて陳化
あり毛深き為二死しと名先
名く招き

鶴唳鴉鳴神楽

袒息相云綺語

漢佛因縁 書

澤庵居士師多墨

度

宗見





柔能制剛

汪正思





諸名家遺墨橫卷
 賴元緒
 印

特別
 平6
 3890
 272



諸名家遺墨橫卷

特別
子 6
3890
272



此橫卷不令裝之筆蹟悉是一女
名家遺墨矣辭觀玩讀足以懷其
人

午晴大正癸亥秋白

賴元緒

